

ビデオチェッカー（ACアダプター付）

VC-202Plus,-J

VIDEO CHECKER WITH SIGNAL GENERATOR

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 電源プラグ、コードは

- ・ 定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・ 差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・ 濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・ 抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・ 電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・ 電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・ 機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2) 本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・ すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・ 空調設備を確認してください。
- ・ しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・ 機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・ 消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3) 修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・ 感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・ 故障の場合は、弊社 製造技術部へご連絡ください。

4) その他

- ・ 長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・ 質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・ 冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。
- ・ 車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・ 機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 機械の持ち運びに注意してください

- ・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2) 外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用いただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社 製造技術部までお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 製造技術部までご連絡ください。

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail cs@videotron.co.jp

<土曜・日曜・祝祭日の連絡先>

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507 (携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

受付時間 9:00~17:00

保証規定

- ・ 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

- (1) ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
- (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
- (3) 火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
- (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
- (5) 当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

- ・ 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2) 交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3) 修理費の総額が製品価格を上回る場合。
- (4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

- ・ アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2) アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
保証規定.....	III
1. 概 説.....	1
《特 長》.....	1
2. 機能チェック.....	2
1. 構 成.....	2
2. 機能チェック接続.....	2
3. POWER ON までの手順.....	3
4. 基本動作チェック.....	3
3. 各部の名称と働き.....	4
1. 正面.....	4
2. 上面.....	6
3. 右側面.....	7
4. 左側面.....	7
4. 操作方法.....	8
1. 基本操作.....	8
2. 操作例.....	8
3. メニュー項目.....	10
4. 工場出荷時の設定.....	16
5. メニューツリー.....	17
5. トラブルシューティング.....	21
6. 仕 様.....	23
1. 機能.....	23
2. 定格.....	23
3. 性能.....	24
4. ブロック図.....	24
7. 外形寸法図.....	25

1. 概 説

中継やロケ現場などで映像と音声をモニターできる小型・軽量の液晶ビデオチェッカーです。内蔵の信号発生機を使用して本体のみで映像と音声のチェックができます。本体の電源はACアダプターとバッテリーホルダー(オプション)を使用して単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池による運用が可能です。

《特 長》

- ✓ 入力映像は SDI 信号(1080i/50, 1080i/59.94, 1080i/60, 1080sF/23.98, 1080sF/24, 720p/50, 720p/59.94, 720p/60, 525i/59.94, 625i/50)、アナログコンポジット信号(NTSC, PAL)に対応
※PAL-M、PAL-N は未対応
- ✓ 入力音声はエンベデッド(48kHz 同期)、AES/EBU(48kHz)、アナログ(モノラル)信号に対応
- ✓ 出力映像は HD-SDI 信号(1080i/50, 1080i/59.94, 1080i/60, 1080sF/23.98, 1080sF/24, 720p/50, 720p/59.94, 720p/60)、SD-SDI 信号(525i/59.94, 625i/50)、アナログコンポジット信号(NTSC, PAL)に対応
- ✓ 出力映像のパターンはステアー、ランプ、クロスハッチ、チェックフィールド(パソロジ)、ブラック、100%・75%フルフィールドカラーバー、75%マルチフォーマットカラーバー(HD-SDI)、SMPTE カラーバー(SD-SDI, NTSC, PAL)の発生とスクロールが可能
- ✓ 出力映像のパターンにサークルやキャラクターを合成可能
- ✓ 出力音声はトーン 1kHz/400Hz -16dBFS/-18dBFS/-20dBFS(+4dBm/+2dBm/0dBm)の発生可能
※()カッコ内はアナログ
- ✓ モニター画面の映像はブライトネス、クロマ、フェーズの調整可能
- ✓ モニター画面に HD-SDI 信号時、4:3, 13:9, 14:9 マーカー表示可能
- ✓ モニター画面に入力音声のオーディオレベルメーターをオーバーレイ表示可能
- ✓ 簡易エラー検知機能により TRS、Y・C CRC(HD-SDI)などのチェックを行え、エラーをカウンター表示可能

2. 機能チェック

1. 構 成

【本体】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	VC-202plus(-J)本体	VC-202plus(-J)	1 台	
2	AC アダプター	UN310-0913 AC100～240V 50Hz/60Hz DC9V 1.3A	1 台	
3	取扱説明書		1 部	本書

【バッテリーホルダー(オプション)】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	バッテリーホルダー	VBH-26 バッテリーホルダー	1 台	
2	取扱説明書		1 部	

2. 機能チェック接続

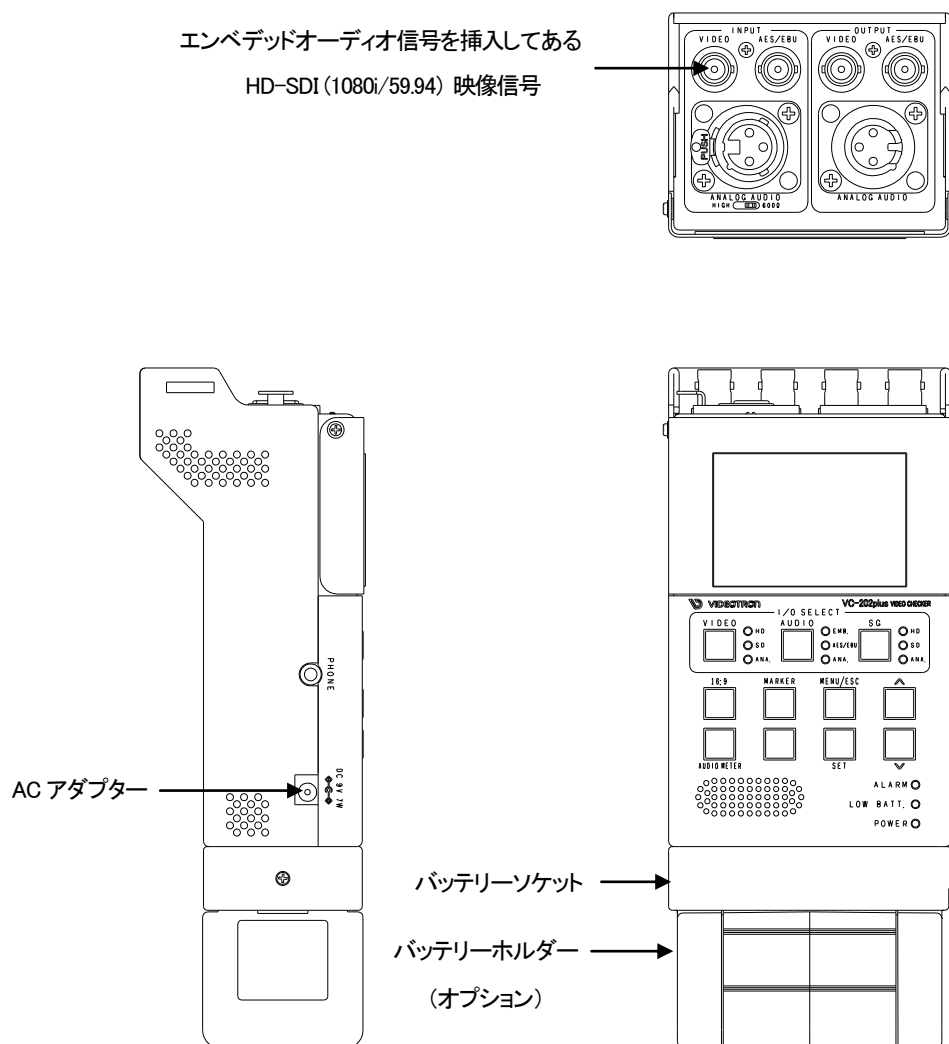


図1 機能チェック接続図

3. POWER ON までの手順

- (1) ACアダプターをVC-202plus(-J)本体に接続するか、バッテリーホルダー※に単3形アルカリ乾電池(LR6)または単3形ニッケル水素電池(HR6)を6本入れて接続します。

※使用方法はバッテリーホルダー付属の「VBH-26取扱説明書」を参照してください。

- (2) VIDEO INPUTにモニターする映像信号を接続します。

4. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合はP-19「5.トラブルシューティング」を参照してください。

※システム例は映像フォーマット:エンベデッドオーディオ信号が挿入してあるHD-SDI(1080i/59.94)映像信号

- (1)「2.機能チェック接続」と「3.POWER ONまでの手順」を参照して、本体の電源スイッチを投入します。

- (2)モニター画面にファームウェアバージョンを表示します。

- (3)INPUT SELECTの[VIDEO]ボタンを押してHD-SDIを選択します。

- (4)VIDEO INPUTに入力している映像がモニター画面に表示します。

- (5)INPUT SELECTの[AUDIO]ボタンを押してSDI/EMBを選択します。

- (6)内蔵スピーカーから音声が出力します。

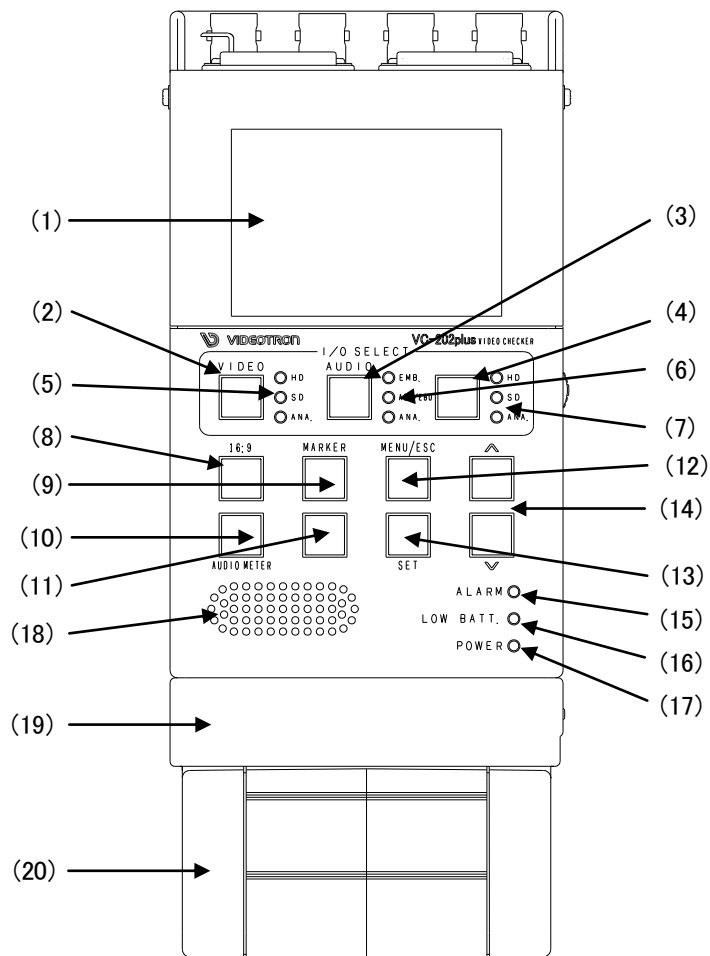
※エンベデッドオーディオ信号を挿入していないSDI映像信号は無音になります。

- (7)本体正面の[AUDIO METER]ボタンを押すとボタンが点灯して、オーディオレベルメーターを表示します。

- (8)本体右側面のVOLUMEレバーを+側に倒すと音声は大きくなり、-側に倒すと音声は小さくなります。

3. 各部の名称と働き

1. 正面



(1) モニター画面

入力映像とオーディオレベルメーターを表示します。

(2) VIDEO ボタン

VIDEO INPUTに入力したモニターする映像をSDI(HD/SD)、アナログから選択します。ボタンを長く押すとVIDEO ボタンが点灯して自動選択モードになります。自動選択モードは入力信号を自動的に判定してSDIとアナログを切り替えます。入力信号を正常に受け取れない場合は自動選択モードを解除して最後に正常信号を受け取っていた状態に戻ります。

(3) AUDIO ボタン

モニターする音声をエンベデッド(SDI)、AES/EBU、アナログから選択します。

※エンベデッドオーディオは音声グループ1(CH1～4)の音声パケットがないと、音声グループ2(CH5～8)の音声を出力しません。

(4) SG ボタン

VIDEO OUTPUTに出力する信号をHD-SDI、SD-SDI、アナログから選択します。

(5) VIDEO INPUT FORMATランプ

選択している映像信号入力のランプが点灯します。

(6) AUDIO INPUT FORMAT ランプ

選択している音声信号入力のランプが点灯します。

(7) VIDEO OUTPUT FORMAT ランプ

選択している映像信号出力のランプが点灯します。

(8) 16:9 ボタン (SD-SDI, ANALOGのみ)

映像のアスペクト比を切り替えます。SDTV 16:9映像の垂直方向を圧縮して正しいアスペクトで表示します。

(9) MARKER ボタン (HD-SDIのみ)

HDTVで使用するマーカを切り替えます。マーカはOFF, 4:3, 13:9+4:3, 13:9, 14:9+4:3, 14:9の順番で切り替わります。

(10) AUDIO METER ボタン

オーディオレベルメーターの表示位置を切り替えます。オーディオレベルメーターはOFF, UNDER, OVER, FULLの順番で切り替わります。

(11) ボタン

映像信号出力のパターンが切り替わります。

(12) MENU/ESC ボタン

各種設定を行う時に、メニューモードへ切り替えます。設定メニュー表示中はキャンセルの動作をします。

(13) SET ボタン

各種設定を行う時に決定します。メニューモード以外で SET ボタンを2秒間押すと“KEY LOCK”と表示してボタン操作を禁止します。解除するには再度、SET ボタンを2秒間押します。

(14) ボタン

各種設定を行う時に、ボタンを押して項目を選択します。

(15) ALARM ランプ

アラームランプです。設定はP-12「4.操作方法 3.メニュー項目 (7)ALARM LAMP [ALRM LMP]」を参照してください。

(16) LOW BATT ランプ

バッテリーのアラームランプです。バッテリーの電圧が低下した時に点灯します。

(17) POWER ランプ

POWERスイッチをオンで点灯、オフで消灯します。バッテリー運用時にPOWERスイッチをオンしても点灯しない、あるいは点滅する場合はバッテリーを交換してください。

(18) 内蔵スピーカー

モニター音声を出力します。

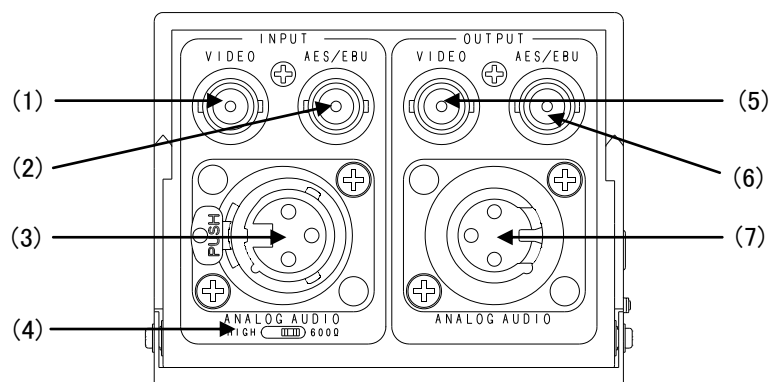
(19) バッテリーソケット

バッテリーホルダーを接続します。

(20) バッテリーホルダー(オプション)

単3形アルカリ乾電池(LR6)または単3形ニッケル水素電池(HR6)を6本使用するバッテリーホルダーです。充電機能はありませんのでニッケル水素電池は指定の充電器を使用して充電してください。またVC-202plusを使用しない時や長期間保存する場合はバッテリーホルダーから電池を取り外してください。※外部電源入力(ACアダプター)を使用する場合はバッテリーホルダーを外して使用してください。外部電源に切り替わらず電池を消耗することがあります。

2. 上面



※ 図はVC-202plusです。VC-202plus-JはANALOG AUDIO INPUT オス、ANALOG AUDIO OUTPUT メスのコネクタになります。

(1) VIDEO INPUT

映像入力端子です。HD-SDI、SD-SDI、アナログコンポジット(NTSC, PAL)の信号を入力します。

(2) AES/EBU INPUT

AES/EBU デジタル・オーディオの入力端子です。AES3idの信号を入力します。

(3) ANALOG AUDIO INPUT

アナログオーディオの平衡入力端子です。VC-202plus はメス、VC-202plus-J はオスのコネクタになります。

(4) 600 Ω /HIGH 終端抵抗 切り替えスイッチ

アナログオーディオ入力の平衡入力終端抵抗切り替えスイッチです。アナログオーディオ信号源の出力インピーダンスに応じて終端抵抗を 600 Ω 、または HIGH に設定してください。出荷時設定は 600 Ω 終端になっています。

(5) VIDEO OUTPUT

映像出力端子です。HD-SDI、SD-SDI、アナログコンポジット(NTSC, PAL)の信号を出力します。

(6) AES/EBU OUTPUT

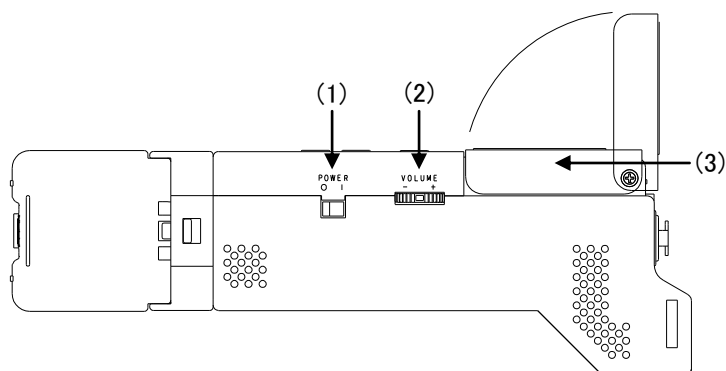
AES/EBU デジタル・オーディオの出力端子です。AES3idの信号を出力します。

※VIDEO OUTPUT FORMATの切り替え時に出力が乱れ、ノイズが入ります。

(7) ANALOG AUDIO OUTPUT

アナログオーディオの平衡出力端子です。VC-202plus はオス、VC-202plus-J はメスの XLR コネクタになります。

3. 右側面



(1) POWER スイッチ

電源スイッチです。電源オンでPOWERランプが点灯します。

※電源は付属のACアダプター(DC 9V) を本体のDC 9V INに接続するかバッテリーソケットにバッテリーを接続してください。

(2) VOLUME

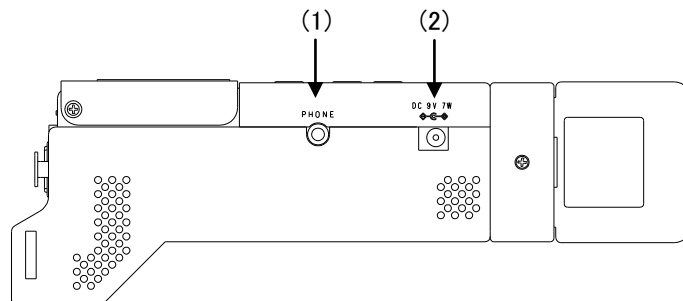
内蔵スピーカーとヘッドフォンのモニター音声レベルを調整します。レバーを+側に倒すと音声は大きくなり、レバーを-側に倒すと音声は小さくなります。またレバーを倒さず押すと、MUTE と画面右下に表示して音声ミュートします。再度レバーを倒さず押すと音声ミュートを解除します。

※音声ミュート中はモニター音声レベルの調整はできません。

(3) フード

モニター画面を保護します。

4. 左側面



(1) PHONE

音声モニターするヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンを接続すると内蔵スピーカーから音声を出しません。Φ3.5 ステレオプラグ、16～32Ω のステレオヘッドフォンに対応しています。

(2) DC 9V (外部電源入力)

本体に外部から電源を供給する入力です。付属の AC アダプター(DC 9V) を接続します。

※外部電源入力(AC アダプター)を使用する場合はバッテリーホルダーを外して使用してください。外部電源に切り替わらず電池を消耗することがあります。

※本製品付属の AC アダプター以外は使用しないでください。また使用しない時は AC アダプターをコンセントから抜いてください。

※AC アダプターのプラグは本体の DC9V(外部電源入力)へ奥まで確実に挿入してください。

※本体の DC9V(外部電源入力)に AC アダプターを接続した状態で AC アダプターのプラグやケーブルへ力を加えないでください。本体の DC9V(外部電源入力)や AC アダプターのプラグやケーブルの故障の原因になります。

4. 操作方法

1. 基本操作

- (1) 本体の電源を投入します。
- (2) **MENU/ESC** ボタンを押すとボタンが点灯してメインメニューをモニター画面に表示します。
- (3) **△** **▽** ボタンを押して項目を選択します。
- (4) **SET** ボタンを押して項目を決めます。選択した項目によって「→」が右側のサブメニューに移ります。
- (5) (3)、(4)の操作を繰り返し、設定の変更を行います。
項目を選択した後、その設定を決定するには必ず **SET** ボタンを押してください。
- (6) サブメニューから抜けるには **MENU/ESC** ボタンを押すと「→」が左側のメインメニューに戻ります。
- (7) メインメニューを終了する場合は **MENU/ESC** ボタンを押します。

2. 操作例

- (1) **MENU/ESC** ボタンを押すとボタンが点灯してメインメニューに入ります。

→ HD MK	OFF
CENT MK	4:3
ASPECT	13:9+4:3
AU MON	13:9
AU METER	14:9+4:3
PICTURE	14:9
ALRM LMP	
FMT DSP	
BT METER	
ERR STAT	

図中の太い文字はモニター画面上で白文字表示します。→HD MKは白文字表示で現在の選択している項目を示します。それ以外の項目はグレーの文字で表示します。**△** **▽** ボタンを押すと選択する項目が替わり、**SET** を押すと決定します。サブメニューからメインメニューへの移動、メインメニューを終了する場合は **MENU/ESC** を押します。

- (2) **△** **▽** ボタンを押して「HD MK」を選択し **SET** を押します。「→」が現在の設定へ移動します。

HD MK	→ OFF
CENT MK	4:3
ASPECT	13:9+4:3
AU MON	13:9
AU METER	14:9+4:3
PICTURE	14:9
ALRM LMP	
FMT DSP	
BT METER	
ERR STAT	

※上の例ではHD MKは「OFF」の設定です。

- (3) **△** **▽** ボタンを押して「4:3」を選択します。

HD MK	OFF
CENT MK	→ 4:3
ASPECT	13:9+4:3
AU MON	13:9
AU METER	14:9+4:3
PICTURE	14:9
ALRM LMP	
FMT DSP	
BT METER	
ERR STAT	

- (4) **SET** を押すと設定を決定して「→」が左側のメニューへ戻ります。また **SET** を押さないで **MENU/ESC** を押すと設定を変更しないで「→」が左側のメニューへ戻ります。

- (5) **△** **▽** ボタンを押して「AU METER」を選択し **SET** を押します。

- (6) **△** **▽** ボタンを押して「LOC」を選択し **SET** を押します。LOCの文字がグレーから白になります。

HD MK	→ LOC: OFF
CENT MK	CH : 8CH
ASPECT	MTR: VU
AU MON	SLD: -20dB
AU METER	SLA: 0dB
PICTURE	
ALRM LMP	
FMT DSP	
BT METER	
ERR STAT	

※上の例ではAU METERは「OFF」の設定です。

- (7) **△** **▽** ボタンを押して「OVER」を選択します。

HD MK	→ LOC: OVER
CENT MK	CH : 8CH
ASPECT	MTR: VU
AU MON	SLD: -20dB
AU METER	SLA: 0dB
PICTURE	
ALRM LMP	
FMT DSP	
BT METER	
ERR STAT	

※上の例ではAU METERは「OVER」の設定です。

- (8) **SET** を押して設定を決定します。また設定を変更しない場合は **MENU/ESC** を押します。

3. メニュー項目

メインメニューには以下の設定項目があります。[]の中はメニュー表示画面上の表記です。

(1) HD MARKER [HD MK] (HD-SDIのみ)

モニター画面にHDTVで使用するマーカ―を切り替えます。

OFF [OFF]	マーカ―を表示しません。
4:3 [4:3]	4:3マーカ―を表示します。
13:9+4:3 [13:9+4:3]	13:9マーカ―と4:3マーカ―を表示します。
13:9 [13:9]	13:9マーカ―を表示します。
14:9+4:3 [14:9+4:3]	14:9マーカ―と4:3マーカ―を表示します。
14:9 [14:9]	14:9マーカ―を表示します。

(2) CENTER MARKER [CENT MK]

モニター画面にセンターマーカ―の表示を選択します。

OFF [OFF]	センターマーカ―を表示しません。
ON [ON]	センターマーカ―を表示します。

(3) ASPECT [ASPECT] (SD-SDI, ANALOGのみ)

モニター画面に表示する映像のアスペクト比を切り替えます。SDTV 16:9映像の垂直方向を圧縮して正しいアスペクトで表示します。

4:3 [4:3]	4:3のアスペクトで表示します。
16:9 [16:9]	16:9のアスペクトで表示します。

(4) AUDIO MONITOR [AU MON]

エンベデッド、AES/EBUオーディオのモニターするチャンネルを選択します。

CH1+CH2 [CH1+CH2]	内蔵スピーカーにCH1, 2、ヘッドフォンのレフトにCH1、ライトにCH2を出力します。
CH3+CH4 [CH3+CH4]	内蔵スピーカーにCH3, 4、ヘッドフォンのレフトにCH3、ライトにCH4を出力します。
CH5+CH6 [CH5+CH6]	内蔵スピーカーにCH5, 6、ヘッドフォンのレフトにCH5、ライトにCH6を出力します。
CH7+CH8 [CH7+CH8]	内蔵スピーカーにCH7, 8、ヘッドフォンのレフトにCH7、ライトにCH8を出力します。
CH1 [CH1]	内蔵スピーカー、ヘッドフォンのレフトとライトにCH1を出力します。
CH2 [CH2]	内蔵スピーカー、ヘッドフォンのレフトとライトにCH2を出力します。
CH3 [CH3]	内蔵スピーカー、ヘッドフォンのレフトとライトにCH3を出力します。
CH4 [CH4]	内蔵スピーカー、ヘッドフォンのレフトとライトにCH4を出力します。
CH5 [CH5]	内蔵スピーカー、ヘッドフォンのレフトとライトにCH5を出力します。
CH6 [CH6]	内蔵スピーカー、ヘッドフォンのレフトとライトにCH6を出力します。
CH7 [CH7]	内蔵スピーカー、ヘッドフォンのレフトとライトにCH7を出力します。
CH8 [CH8]	内蔵スピーカー、ヘッドフォンのレフトとライトにCH8を出力します。

※AES/EBUはCH1+CH2, CH1, CH2のみ選択できます。

※エンベデッドオーディオは音声グループ1(CH1～4)の音声パケットがないと、音声グループ2(CH5～8)の音声を出力しません。

(5) AUDIO METER [AU METER]

オーディオレベルメーターの設定をします。

1) LOCATION [LOC]

オーディオレベルメーターの表示位置を切り替えます。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| OFF [OFF] | レベルメーターを表示しません。 |
| UNDER [UNDER] | 映像の下部にレベルメーターを重ねて表示します。 |
| OVER [OVER] | 映像の上にレベルメーターを重ねて表示します。 |
| FULL [FULL] | 画面全体にレベルメーターを表示します。 |

2) CHANNEL [CH]

エンベデッドオーディオのレベルメーターに表示するチャンネル数を選択します。

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 2CH [2CH] | CH1, 2のレベルメーターを表示します。 |
| 4CH [4CH] | CH1～4のレベルメーターを表示します。 |
| 8CH [8CH] | CH1～8のレベルメーターを表示します。 |

またAES/EBUはCH1, 2、アナログはCH1のレベルメーターを表示します。

3) METER [MTR]

オーディオレベルメーターを選択します。

- | | |
|---------|--|
| VU [VU] | オーディオレベルメーターをVU(volume unit)メーターにします。 |
| PP [PP] | オーディオレベルメーターをPP(peak program)メーターにします。 |
- エンベデッド, AES/EBUオーディオの時、目盛はdBFSになります。

※アナログオーディオ入力には保護回路の関係で約+14dBm以上の信号に正しくメーターが振れません。

4) SOL DIGITAL [SLD]

エンベデッド, AES/EBUオーディオの標準動作レベル(SOL)を選択します。

- | | |
|-----------------|---|
| -20dBFS [-20dB] | -20dBFSをSOL(VU:0, PP:-20)にしたメーターを表示します。 |
| -18dBFS [-18dB] | -18dBFSをSOL(VU:0, PP:-18)にしたメーターを表示します。 |
| -16dBFS [-16dB] | -16dBFSをSOL(VU:0, PP:-16)にしたメーターを表示します。 |

5) SOL ANALOG [SLA]

アナログオーディオの標準動作レベル(SOL)を選択します。

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| 0dBm [0dB] | 0dBmをSOL(VU:0, PP:0)にしたメーターを表示します。 |
| +2dBm [+2dB] | +2dBmをSOL(VU:0, PP:0)にしたメーターを表示します。 |
| +4dBm [+4dB] | +4dBmをSOL(VU:0, PP:0)にしたメーターを表示します。 |

※アナログオーディオ入力には保護回路の関係で約+14dBm以上の信号に正しくメーターが振れません。

(6) PICTURE [PICTURE]

モニター画面に表示する画像の設定をします。

CONTRAST [CON]	画像の明暗を設定します。0を基準に大きくなるほど明暗が高くなり、小さくなるほど明暗が低くなります。
BRIGHT [BRI]	画像の明るさを設定します。0を基準に大きくなるほど明るくなり、小さくなるほど暗くなります。
CHROMA [CHR]	画像の彩度を設定します。0を基準に大きくなるほど彩度が高くなり、小さくなるほど彩度が低くなります。
PHASE [PHA]	画像の色相を設定します。0を基準に大きくなるほど紫色になり、小さくなるほど緑色になります。
BACKLIGHT[BAC]	バックライトの明るさを設定します。0を基準に大きくなるほど明るくなり、小さくなるほど暗くなります。
NTSC [NTSC]	アナログNTSCのセットアップ(黒レベル)を設定します。0でセットアップ0IRE、7.5でセットアップ+7.5IRE になります。

(7) ALARM LAMP [ALRM LMP]

SDI映像入力信号のエラー(ウォーニング)でアラームランプが点灯する条件を設定します。各項目ごとにOFF [OFF]で消灯、ON [ON]で点灯の設定ができます。またON(点灯)にした項目はエラー(ウォーニング)発生中、画面にその項目を表示します。

TRS [TRS]	TRSエラーの設定をします。 TRSの同期コードが異常なときエラーにします
CRC[CRC]	Y CRCエラー、C CRCエラーの設定をします。(HD-SDIのみ) ビデオ信号内のCRCが不一致のときエラーにします。
ANCILLARY DATA[ANC]	ANCILLARY DATA PACKETエラーの設定をします。 ANCILLARY DATA PACKET 内のチェックサムが不一致、パリティ(DID, SDID, DBN, DC)が不一致のときエラーにします。
ANCILLARY DATA SPACE [ANC S]	ANCILLARY DATA SPACEウォーニングの設定をします。 ビデオスイッチングポイントのライン(HANC領域を除く)およびその次のラインのHANC領域にANCILLARY DATA PACKETがある時、ウォーニングにします。
RESERVED DATA[RSVD]	RESERVED DATAエラーの設定をします。 ビデオ信号のデータが000H~003H, 3FCH~3FFH(TRS, ADF除く)のときエラーにします。
LINE NUMBER [L NUM]	LINE NUMBERエラーの設定をします。(HD-SDIのみ) ビデオ信号内のLINE NUMBERが不一致のときエラーにします。
LINE LENGTH[L LEN]	LINE LENGTHエラーの設定をします。 ラインの長さが異常なときエラーにします。
SAV PLACEMENT[S PLC]	SAV PLACEMENTエラーの設定をします。 SAVの位置が異常なときエラーにします。

FRAME LENGTH[F LEN]	FRAME LENGTHエラーの設定をします。 1フレームのライン数が異常なときエラーにします。
---------------------	---

(8) FORMAT DISPLAY [FMT DSP]

映像信号のフォーマットを画面に表示します。

OFF [OFF]	映像信号のフォーマットを表示しません。
3SEC [3SEC]	映像信号のフォーマットを映像が切り替わった後3秒間、表示します。
ON [ON]	常に映像信号のフォーマットを表示します。

(9) BATTERY METER [BT METER]

バッテリー残量計を画面に表示します。

※バッテリー（電池）の電圧に基づいて表示していますので、目安として使用してください。

※バッテリーホルダー内の電池が新しい（電圧が高い）場合、外部電源入力（ACアダプター）を使用しても外部電源入力を示すプラグのマークに切り替わらず電池から電源を供給することがあります。電池の消耗を防ぐため外部電源を使用する場合はバッテリーホルダーを外して使用してください。

OFF [OFF]	バッテリー残量計を表示しません。
ON [ON]	バッテリー残量計を表示します。外部電源入力を使用中、バッテリー残量計は外部電源入力の使用を示すプラグのマークになります。

(10) ERROR STATUS [ERR STAT]

SDI映像入力信号のエラー（ウォーニング）をカウンター表示します。

エラーのない状態から、エラーが発生したときにカウンターが1カウント増加します。

カーソルを[RESET]に合わせ、**SET**するとカウンターが0クリアされます。

カウンターは電源ON/OFFでリセットされません。

TRS [TRS]	TRSエラー
C CRC [C CRC]	C CRCエラー（HD-SDIのみ）
Y CRC [Y CRC]	Y CRCエラー（HD-SDIのみ）
ANCILLARY DATA [ANC]	ANCILLARY DATAエラー
ANCILLARY DATA SPACE [ANC S]	ANCILLARY DATA SPACEウォーニング
RESERVED DATA[RSVD]	RESERVED DATAエラー
LINE NUMBER [L NUM]	LINE NUMBERエラー（HD-SDIのみ）
LINE LENGTH[L LEN]	LINE LENGTHエラー
SAV PLACEMENT[S PLC]	SAV PLACEMENTエラー
FRAME LENGTH[F LEN]	FRAME LENGTHエラー

(11) SG VIDEO PATTERN [SG VPAT]

出力映像の設定をします。

1) PATTERN [PAT]

出力映像のパターンを設定します。

100%COLORBAR [100CB]	100%フルフィールドカラーバーを出力します。
75%COLORBAR [75CB]	75%フルフィールドカラーバーを出力します。
SMPTE [SMPTE]	SMPTEカラーバーを出力します。(SD-SDI, ANALOGのみ)
MULTIFORMAT [MULTI]	75%マルチフォーマットカラーバーを出力します。(HD-SDIのみ)
STAIRCASE [STAIR]	ステアケースを出力します。
RAMP [RAMP]	ランプを出力します。
CROSSHATCH[CRSSH]	クロスハッチを出力します。
CHECK FIELD[CHECK]	チェックフィールド(パソロジ)を出力します。
BLACK[BLACK]	ブラック0IRE信号を出力します。 (ANALOG NTSC7.5設定出力時は7.5IREを出力) BLACK選択時は画面左上部に[SG BLACK]と表示されます。

2) CIRCLE [CIR]

出力映像にサークルを合成するか設定します。

OFF [OFF]	サークルを合成しません。
ON [ON]	サークルを合成します。
ON 16:9 [16:9]	サークル(SDTV 16:9)を合成します。(SD-SDI, ANALOGのみ)

3) SCROLL [SCRL]

出力映像のパターンをスクロールするか設定します。

OFF [OFF]	出力映像のパターンを静止します。
ON [ON]	出力映像のパターンをスクロールします。

4) DIRECTION [DIR]

出力映像がスクロールする方向を設定します。

LEFT [L]	出力映像のパターンを左にスクロールします。
LEFT+UP [L+U]	出力映像のパターンを左上にスクロールします。
UP [U]	出力映像のパターンが上にスクロールします。
RIGHT+UP [R+U]	出力映像のパターンが右上にスクロールします。
RIGHT [R]	出力映像のパターンが右にスクロールします。
RIGHT+DOWN [R+D]	出力映像のパターンが右下にスクロールします。
DOWN [D]	出力映像のパターンが下にスクロールします。
LEFT+DOWN [L+D]	出力映像のパターンが左下にスクロールします。

5) SPEED H [SPDH]

水平方向にスクロールするスピードを設定します。2ステップ単位で0～64ステップまで設定できます。

※フィールド(720p/50, 720p/59, 720p/60, 1080sF/23, 1080sF/24はフレーム)あたりのステップ値です。

6) SPEED V [SPDV]

垂直方向にスクロールするスピードを設定します。1ステップ単位で0～64ステップまで設定できます。

※フィールド(720p/50, 720p/59, 720p/60, 1080sF/23, 1080sF/24はフレーム)あたりのステップ値です。

(12) SG VIDEO FORMAT [SG VFMT]

出力映像信号のフォーマットを設定します。

1) HD-SDI [HD]

HD-SDI出力の映像信号フォーマットを設定します。

720p/50 [720p/50]	720p/50に設定します。
720p/59.94 [720p/59]	720p/59.94に設定します。
720p/60 [720p/60]	720p/60に設定します。
1080sF/23.98 [80sF/23]	1080sF/23.98に設定します。
1080sF/24 [80sF/24]	1080sF/24に設定します。
1080i/50 [80i/50]	1080i/50に設定します。
1080i/59.94 [80i/59]	1080i/59.94に設定します。
1080i/60 [80i/60]	1080i/60に設定します。

2) SD-SDI [SD]

SD-SDI出力の映像信号フォーマットを設定します。

525i/59.94 [525i/59]	525i/59.94に設定します。
625i/50 [625i/50]	625i/50に設定します。

3) ANALOG [ANA]

アナログコンポジット出力の映像信号フォーマットを設定します。

NTSC 0 [NTSC0]	NTSC(セットアップ0IRE)に設定します。
NTSC 7.5 [NTSC75]	NTSC(セットアップ+7.5IRE)に設定します。
PAL [PAL]	PALに設定します。

(13) ID CHARACTER [ID CHAR]

出力映像に合成するキャラクターを設定します。

1) ID [ID]

出力映像にキャラクターを合成するか設定します。

OFF [OFF]	合成しません。
ON [ON]	合成します。

2) POSITION H [POSH]

キャラクター水平方向の合成位置を設定します。

3) POSITION V [POSV]

キャラクター垂直方向の合成位置を設定します。

4) EDIT ID [EDIT]

合成するキャラクターを設定します。

文字数は10文字まで、アルファベット(大文字、小文字)、数字、スペースを使用できます。

(14) SG AUDIO TONE [SG TONE]

オーディオ出力のトーン周波数、出力レベルを設定します。

1) CH 1～8 [CH1]～[CH8]

チャンネル毎にオーディオ出力のトーン周波数を設定します。

MUTE [MUTE]	無音にします。
400 [400]	400Hzのトーン信号を出力します。
1k [1k]	1kHzのトーン信号を出力します。

※AES/EBU出力はCH1, 2、アナログ出力はCH1の設定を使用します。

2) LEVEL DIGITAL [LVD]

EMBEDDED, AES/EBUのオーディオ出力の出力レベルを設定します。

-20dBFS [-20dB]	出力レベルを-20dBFSにします。
-18dBFS [-18dB]	出力レベルを-18dBFSにします。
-16dBFS [-16dB]	出力レベルを-16dBFSにします。

3) LEVEL ANALOG [LVA]

アナログのオーディオ出力レベルを設定します。

0dBm [0dB]	出力レベルを0dBIにします。
+2dBm [+2dB]	出力レベルを+2dBIにします。
+4dBm [+4dB]	出力レベルを+4dBIにします。

(15) VERSION [VERSION]

プログラムのバージョンを表示します。

4. 工場出荷時の設定

下記の操作で工場出荷時の設定に戻ります。

- (1) 本体の電源スイッチをOFFにします。
- (2) **SET** ボタンを押しながら電源スイッチをONにします。モニター画面に[Backup Initial(Initial Operation)]と表示するまで**SET** ボタンを押し続けます。
- (3) 表示したら**SET** ボタンから指を離します。これで工場出荷時の設定に戻ります。

5. メニューツリー

MENU	HD MARKER	初期値	
		[HD MK]	モニター画面にHDTVのマーカーを選択します。(HD-SDI)
	OFF	[OFF]	マーカーを表示しません。
	4:3	[4:3]	4:3マーカーを表示します。
	13:9+4:3	[13:9+4:3]	13:9マーカーと4:3マーカーを表示します。
	13:9	[13:9]	13:9マーカーを表示します。
	14:9+4:3	[14:9+4:3]	14:9マーカーと4:3マーカーを表示します。
	14:9	[14:9]	14:9マーカーを表示します。
	CENTER MARKER	[CENT MK]	モニター画面にセンターマーカーの表示を選択します。
	OFF	[OFF]	センターマーカーを表示しません。
	ON	[ON]	センターマーカーを表示します。
	ASPECT	[ASPECT]	SDTV16:9映像の垂直方向を圧縮して正しいアスペクトで表示します。(SD-SDI, ANALOG)
	4:3	[4:3]	4:3のアスペクトで表示します。
	16:9	[16:9]	16:9のアスペクトで表示します。
	AUDIO MONITOR	[AU MON]	エンベデッド, AES/EBUオーディオのモニターするチャンネルを選択します。
	CH1+CH2	[CH1+CH2]	内蔵スピーカーにCH1+CH2、ヘッドホンのレフトにCH1、ライトにCH2を出力します。
	CH3+CH4	[CH3+CH4]	内蔵スピーカーにCH3+CH4、ヘッドホンのレフトにCH3、ライトにCH4を出力します。
	CH5+CH6	[CH5+CH6]	内蔵スピーカーにCH5+CH6、ヘッドホンのレフトにCH5、ライトにCH6を出力します。
	CH7+CH8	[CH7+CH8]	内蔵スピーカーにCH7+CH8、ヘッドホンのレフトにCH7、ライトにCH8を出力します。
	CH1	[CH1]	内蔵スピーカー、ヘッドホンのレフトとライトにCH1を出力します。
	CH2	[CH2]	内蔵スピーカー、ヘッドホンのレフトとライトにCH2を出力します。
	CH3	[CH3]	内蔵スピーカー、ヘッドホンのレフトとライトにCH3を出力します。
	CH4	[CH4]	内蔵スピーカー、ヘッドホンのレフトとライトにCH4を出力します。
	CH5	[CH5]	内蔵スピーカー、ヘッドホンのレフトとライトにCH5を出力します。
	CH6	[CH6]	内蔵スピーカー、ヘッドホンのレフトとライトにCH6を出力します。
	CH7	[CH7]	内蔵スピーカー、ヘッドホンのレフトとライトにCH7を出力します。
	CH8	[CH8]	内蔵スピーカー、ヘッドホンのレフトとライトにCH8を出力します。
	AUDIO METER	[AU METER]	オーディオレベルメーターの設定をします。
	LOCATION	[LOC]	オーディオレベルメーターの表示位置を選択します。
	OFF	[OFF]	レベルメーターを表示しません。
	UNDER	[UNDER]	映像の下部にレベルメーターを表示します。
	OVER	[OVER]	映像の上にレベルメーターを重ねて表示します。
	FULL	[FULL]	画面全体にレベルメーターのみを表示します。
	CHANNEL	[CH]	オーディオのレベルメーターに表示するチャンネル数を選択します。
	2CH	[2CH]	CH1,2のレベルメーターを表示します。
	4CH	[4CH]	CH1~4のレベルメーターを表示します。
	8CH	[8CH]	CH1~8のメーターを表示します。
	METER	[MTR]	オーディオレベルメーターを選択します。
	VU	[VU]	オーディオレベルメーターをVU(volume unit)メーターにします。
	PP	[PP]	オーディオレベルメーターをPP(peak program)メーターにします。
	SOL DIGITAL	[SLD]	エンベデッド, AES/EBUオーディオの標準動作レベル(SOL)を設定します。
	-20dBFS	[-20dB]	-20dBFSをSOL(VU:0PP:-20)にしたメーターを表示します。
	-18dBFS	[-18dB]	-18dBFSをSOL(VU:0PP:-18)にしたメーターを表示します。
	-16dBFS	[-16dB]	-16dBFSをSOL(VU:0PP:-16)にしたメーターを表示します。
	SOL ANALOG	[SLA]	アナログオーディオの標準動作レベル(SOL)を設定します。
	0dBm	[0dB]	0dBmをSOL(VU:0PP:0)にしたメーターを表示します。
	+2dBm	[+2dB]	+2dBmをSOL(VU:0PP:0)にしたメーターを表示します。
	+4dBm	[+4dB]	+4dBmをSOL(VU:0PP:0)にしたメーターを表示します。
	PICTURE	[PICTURE]	画像の設定をします。
	CONTRAST	[CON]	画像の明暗を設定します。
	-25~+25	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど明暗が高くなり、小さくなるほど明暗が低くなります。
	BRIGHT	[BRI]	画像の明るさを設定します。
	-25~+25	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど明るくなり、小さくなるほど暗くなります。
	CHROMA	[CHR]	画像の彩度を設定します。
	-25~+25	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど彩度が高くなり、小さくなるほど彩度が低くなります。
	PHASE	[PHA]	画像の色相を設定します。
	-25~+25	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど紫色になり、小さくなるほど緑色になります。
	BACKLIGHT	[BAC]	バックライトの明るさを設定します。
	-10~+10	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど明るくなり、小さくなるほど暗くなります。
	NTSC SETUP	[NTSC]	アナログNTSCのセットアップ(黒レベル)を設定します。
	0	[0]	セットアップを0IREに設定します。
	+7.5	[7.5]	セットアップを+7.5IREに設定します。

ALARM LAMP	[ALRM LMP]	SDI映像入力信号のエラー(ウォーニング)で アラームランプが点灯する条件を設定します。
TRIS	[TRIS]	TRISエラーの設定をします。(HD-SDI, SD-SDI)
OFF	[OFF]	TRISエラーでアラームランプを点灯しません。
ON	[ON]	TRISエラーでアラームランプを点灯します。
CRC	[CRC]	CRCエラーの設定をします。(HD-SDI)
OFF	[OFF]	CRCエラーでアラームランプを点灯しません。
ON	[ON]	CRCエラーでアラームランプを点灯します。
ANC DATA	[ANC]	ANCILLARY DATAエラーの設定をします。(HD-SDI, SD-SDI)
OFF	[OFF]	ANCILLARY DATAエラーでアラームランプを点灯します。
ON	[ON]	ANCILLARY DATAエラーでアラームランプを点灯しません。
ANC DATA SPACE	[ANC S]	ANCILLARY DATA SPACEウォーニングの設定をします。(HD-SDI, SD-SDI)
OFF	[OFF]	ANCILLARY DATA SPACEウォーニングでアラームランプを点灯しません。
ON	[ON]	ANCILLARY DATA SPACEウォーニングでアラームランプを点灯します。
RESERVED DATA	[RSVD]	RESERVED DATAエラーの設定をします。(HD-SDI, SD-SDI)
OFF	[OFF]	RESERVED DATAエラーでアラームランプを点灯しません。
ON	[ON]	RESERVED DATAエラーでアラームランプを点灯します。
LINE NUMBER	[L NUM]	LINE NUMBERエラーの設定をします。(HD-SDI)
OFF	[OFF]	LINE NUMBERエラーでアラームランプを点灯しません。
ON	[ON]	LINE NUMBERエラーでアラームランプを点灯します。
LINE LENGTH	[L LEN]	LINE LENGTHエラーの設定をします。(HD-SDI, SD-SDI)
OFF	[OFF]	LINE LENGTHエラーでアラームランプを点灯しません。
ON	[ON]	LINE LENGTHエラーでアラームランプを点灯します。
SAV PLACEMENT	[S PLC]	SAV PLACEMENTエラーの設定をします。(HD-SDI, SD-SDI)
OFF	[OFF]	SAV PLACEMENTエラーでアラームランプを点灯しません。
ON	[ON]	SAV PLACEMENTエラーでアラームランプを点灯します。
FRAME LENGTH	[F LEN]	FRAME LENGTHエラーの設定をします。(HD-SDI, SD-SDI)
OFF	[OFF]	FRAME LENGTHCエラーでアラームランプを点灯しません。
ON	[ON]	FRAME LENGTHCエラーでアラームランプを点灯します。
FORMAT DISPLAY	[FMT DSP]	映像信号のフォーマットを画面に表示します。
OFF	[OFF]	映像信号のフォーマットを表示しません。
3SEC	[3SEC]	映像信号のフォーマットが切り替わったあと3秒間、表示します。
ON	[ON]	映像信号のフォーマットを常に表示します。
BATTERY METER	[BT METER]	バッテリー残量計を画面に表示します。
OFF	[OFF]	バッテリー残量計を表示しません。
ON	[ON]	バッテリー残量計を表示します。
ERROR STATUS	[ERR STAT]	SDI映像入力信号のエラー(ウォーニング)の有無をカウンター表示します。
RESET	[RESET]	エラーカウンターをリセットします。

SG VIDEO		[SG VPAT]	出力映像の設定をします。
PATTERN	[PAT]		出力映像のパターンを設定します。
└ 100%COLORBAR	[100CB]		100%フル・フィールド・カラーバーを出力します。
└ 75%COLORBAR	[75CB]		75%フル・フィールド・カラーバーを出力します。
└ SMPTE	[SMPTE]		SMPTEカラーバーを出力します。(SD-SDI, ANALOG)
└ MULTIFORMAT	[MULTI]		75%マルチ・フォーマット・カラーバーを出力します。(HD-SDI)
└ STAIRCASE	[STAIR]		ステアーケースを出力します。
└ RAMP	[RAMP]		ランプを出力します。
└ CROSSHATCH	[CRSSH]		クロスハッチを出力します。
└ CHECK FIELD	[CHECK]		チェックフィールド(パソロジ)を出力します。
└ BLACK	[BLACK]		ブラック信号を出力します。(ANALOG NTSC7.5設定出力時は7.5IRE出力)
CIRCLE	[CIR]		出力映像のパターンにサークルを合成します。
└ OFF	[OFF]		サークルを合成しません。
└ ON	[ON]		サークルを合成します。
└ ON 16:9	[16:9]		サークル(SDTV16:9)を合成します。(SD-SDI, ANALOG)
SCROLL	[SCRL]		出力映像のスクロールを設定します。(サークルの部分はスクロールしません)
└ OFF	[OFF]		スクロールしません。
└ ON	[ON]		スクロールします。
DIRECTION	[DIR]		出力映像のスクロール方向を設定します。
└ LEFT	[L]		左にスクロールします。
└ LEFT+UP	[L+U]		左上にスクロールします。
└ UP	[U]		上にスクロールします。
└ RIGHT+UP	[R+U]		右上にスクロールします。
└ RIGHT	[R]		右にスクロールします。
└ RIGHT+DOWN	[R+D]		右下にスクロールします。
└ DOWN	[D]		下にスクロールします。
└ LEFT+DOWN	[L+D]		左下にスクロールします。
SPEED H	[SPDH]		水平方向のスクロールスピードを設定します。
└ 0~64	[0]		
SPEED V	[SPDV]		垂直方向のスクロールスピードを設定します。
└ 0~64	[0]		
SG VIDEO FORMAT		[SG VFMT]	出力映像のフォーマットを設定します。
HD-SDI	[HD]		HD映像の出力信号フォーマットを設定します。
└ 720p/50	[720p/50]		720p/50に設定します。
└ 720p/59.94	[720p/59]		720p/59.94に設定します。
└ 720p/60	[720p/60]		720p/60に設定します。
└ 1080sF/23.98	[80sF/23]		1080sF/23.98に設定します。
└ 1080sF/24	[80sF/24]		1080sF/24に設定します。
└ 1080i/50	[80i/50]		1080i/50に設定します。
└ 1080i/59.94	[80i/59]		1080i/59.94に設定します。
└ 1080i/60	[80i/60]		1080i/60に設定します。
SD-SDI	[SD]		SD映像の出力信号フォーマットを設定します。
└ 525i/59.94	[525i/59]		525i/59.94に設定します。
└ 625i/50	[625i/50]		625i/50に設定します。
ANALOG	[ANA]		アナログコンポジット映像の出力信号フォーマットを設定します。
└ NTSC 0	[NTSC0]		アナログNTSC(セットアップ0IRE)に設定します。
└ NTSC7.5	[NTSC75]		アナログNTSC(セットアップ+7.5IRE)に設定します。
└ PAL	[PAL]		アナログPALに設定します。

ID CHARACTER		[ID CHAR]	出力映像に表示するキャラクタを設定します。
ID	[ID]	出力映像にキャラクターを表示するか設定します。	
OFF	[OFF]	キャラクターを表示しません。	
ON	[ON]	キャラクターを表示します。	
POSITION H	[POSH]	キャラクターのHポジションを設定します。	
0~	[0]	※設定範囲は出力信号フォーマットに依存。	
POSITION V	[POSV]	キャラクターのVポジションを設定します。	
0~	[0]	※設定範囲は出力信号フォーマットに依存。	
EDIT ID	[EDIT]	表示するキャラクターの文字を設定します。	
SG AUDIO TONE		[SG TONE]	音声信号に出力するトーン周波数を設定します。
CH1	[CH1]	CH1に出力するトーン周波数を 設定します。	
MUTE	[MUTE]	CH1を無音にします。	
400	[400]	CH1に400Hzのトーンを出力します。	
1k	[1k]	CH1に1kHzのトーンを出力します。	
CH2	[CH2]	CH2に出力するトーン周波数を 設定します。	
MUTE	[MUTE]	CH2を無音にします。	
400	[400]	CH2に400Hzのトーンを出力します。	
1k	[1k]	CH2に1kHzのトーンを出力します。	
CH3	[CH3]	CH3に出力するトーン周波数を 設定します。	
MUTE	[MUTE]	CH3を無音にします。	
400	[400]	CH3に400Hzのトーンを出力します。	
1k	[1k]	CH3に1kHzのトーンを出力します。	
CH4	[CH4]	CH4に出力するトーン周波数を 設定します。	
MUTE	[MUTE]	CH4を無音にします。	
400	[400]	CH4に400Hzのトーンを出力します。	
1k	[1k]	CH4に1kHzのトーンを出力します。	
CH5	[CH5]	CH5に出力するトーン周波数を 設定します。	
MUTE	[MUTE]	CH5を無音にします。	
400	[400]	CH5に400Hzのトーンを出力します。	
1k	[1k]	CH5に1kHzのトーンを出力します。	
CH6	[CH6]	CH6に出力するトーン周波数を 設定します。	
MUTE	[MUTE]	CH6を無音にします。	
400	[400]	CH6に400Hzのトーンを出力します。	
1k	[1k]	CH6に1kHzのトーンを出力します。	
CH7	[CH7]	CH7に出力するトーン周波数を 設定します。	
MUTE	[MUTE]	CH7を無音にします。	
400	[400]	CH7に400Hzのトーンを出力します。	
1k	[1k]	CH7に1kHzのトーンを出力します。	
CH8	[CH8]	CH8に出力するトーン周波数を 設定します。	
MUTE	[MUTE]	CH8を無音にします。	
400	[400]	CH8に400Hzのトーンを出力します。	
1k	[1k]	CH8に1kHzのトーンを出力します。	
LEVEL DIGITAL	[LVD]	エンベデッド、AES/EBUのオーディオ出力レベルを設定します。	
-20dBFS	[-20dB]	出力レベルを-20dBFSにします。	
-18dBFS	[-18dB]	出力レベルを-18dBFSにします。	
-16dBFS	[-16dB]	出力レベルを-16dBFSにします。	
LEVEL ANALOG	[LVA]	アナログのオーディオ出力レベルを設定します。	
0dBm	[0dB]	出力レベルを0dBmにします。	
+2dBm	[+2dB]	出力レベルを+2dBmにします。	
+4dBm	[+4dB]	出力レベルを+4dBmにします。	
VERSION	[VERSION]	プログラムのバージョンを表示します。	

※[]内はメニュー画面上の表記です。 網掛け文字は工場出荷時の設定です。

5. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

現 象 電源が入らない！

原 因 ・電源スイッチはON側になっていますか？

・ACアダプターがコンセントに挿入されていますか？

・ACアダプターのプラグが本体から抜けかかっていますか？

→ACアダプターの接続を確認してください。

・バッテリーホルダーに入れた電池の極性は正しいですか？

→電池の極性を確認してください。

・バッテリーホルダーに使用済みのアルカリ乾電池を使用していませんか？

・バッテリーホルダーに放電したニッケル水素電池を使用していませんか？

→未使用のアルカリ乾電池または充電したニッケル水素電池と交換してください。

→原因がわからない場合は直ちに使用を中止し、弊社へお問い合わせください。

現 象 電源がオン・オフを繰り返す！

原 因 ・バッテリーホルダーに使用済みのアルカリ乾電池を使用していませんか？

・バッテリーホルダーに放電したニッケル水素電池を使用していませんか？

→未使用のアルカリ乾電池または充電したニッケル水素電池と交換してください。

現 象 外部電源入力(ACアダプター)に切り替わらない！

原 因 ・バッテリーホルダーを使用していませんか？

→バッテリーホルダーを外して使用してください。外部電源入力(ACアダプター)の電圧より

バッテリーホルダーの電圧が高い場合は外部電源に切り替わりません。

現 象 入力映像信号がモニター画面に出力されない！

原 因 ・ビデオの選択(SDI, アナログ)は入力信号と合っていますか？

・対応している映像フォーマットですか？

→VIDEO INPUT FORMATランプの設定を確認してください。

現 象 入力音声信号が出力されない！

原 因 ・音声の選択(エンベデッド, AES/EBU, アナログ)は入力信号と合っていますか？

→AUDIO INPUT FORMATランプの設定を確認してください。

・MUTEと画面右下に表示されていませんか？

→VOLUMEレバーを倒さず押すと音声ミュートを解除します。

・VOLUMEの設定が小さくありませんか？

→VOLUMEレバーを＋側に倒すと音声は大きくなります。

- ・エンベデッドオーディオに音声グループ1(CH1～4)の音声パケットはありますか？
- エンベデッドオーディオは音声グループ1(CH1～4)の音声パケットがないと、音声グループ2(CH5～8)の音声を出力しません。

現 象 入力音声信号のVOLUMEが可変できない！

- 原 因 ・MUTEと画面右下に表示されていませんか？
- VOLUMEレバーを倒さず押して音声ミュートを解除してください。

現 象 出力映像信号が出力されない！

- 原 因 ・映像信号フォーマットの設定は合っていますか？
- SG VIDEO FORMATの設定を確認してください。
- VIDEO OUTPUT FORMATランプを確認してください。

現 象 出力映像信号のパターンが指定した方向にスクロールしない！

- 原 因 ・SPEED HもしくはSPEED Vの値に0が設定してありませんか？
- SPEED H, SPEED Vの値を0以外に設定してください。

現 象 出力映像信号のエンベデッド音声出力が出力されない！

- 原 因 ・SG AUDIO TONEの設定がMUTEになっていませんか？
- SG AUDIO TONEの設定を400Hzまたは1kHzに設定してください。

現 象 出力映像信号のフォーマット切り替え時に出力音声信号のAES/EBU音声からノイズが出る！

- 原 因 ・出力音声信号の基準は出力映像信号から発生していますのでフォーマット切り替え時に出力音声信号が乱れ、ノイズが入ります。
- AES/EBU音声出力を使用中、出力映像信号のフォーマットを切り替えないようにしてください。

現 象 設定したデータがバックアップされない！

- 原 因 ・設定した最後に **SET** を押してからメニューを閉じましたか？
- 設定した最後には **SET** を押してから **MENU/ESC** を押してメニューから抜けてください。

現 象 ボタンを押しても“KEY LOCK”と表示してボタン操作ができない！

- 原 因 ・ボタン操作が禁止になっています。
- 解除するには **SET** ボタンを2秒間押してください。

6. 仕様

1. 機能

画像	ブライトネス調整、クロマ調整、フェーズ調整		
マーカー	4:3、13:9、14:9 マーカー (HD-SDI)、センターマーカー		
音声	音量調整、モニター音声チャンネル選択(エンベデッド)		
音声レベルメーター	HD(SD)-SDI EMBEDDED	8ch, 4ch, 2ch	
	AES/EBU	2ch	
	ANALOG	1ch	
エラー(ウォーニング)カウンター	TRS、Y・C CRC(HD-SDI)、ANCILLARY DATA(CHECKSUM, PARITY), ANCILLARY DATA SPACE, RESERVED DATA, LINE NUMBER(HD-SDI), LINE LENGTH, SAV PLACEMENT, FRAME LENGTH		
ジェネレーター映像			
・パターン	100%・75%フルフィールドカラーバー、 75%マルチフォーマットカラーバー(HD-SDI)、 SMPTE カラーバー(SD-SDI、ANALOG COMPOSITE)、ステアケース、 ランプ、クロスハッチ、チェックフィールド(パソロジ)、ブラック、 サークル(他のパターンに合成してのみ表示可)		
・キャラクター	アルファベット(大文字、小文字)、数字、スペース 文字数 10 文字まで		
・スクロール	水平 0~64ステップ(2ステップ間隔) 垂直 0~64ステップ(1ステップ間隔)		
(サークル、キャラクターを除く)	(1080i, 525i, 625i はフィールド、720p, 1080sF はフレームあたりの値)		
ジェネレーター音声	トーン 1kHz /400Hz -16dBFS/-18dBFS/-20dBFS (+4dBm/+2dBm/0dBm) ()カッコ内はアナログ		

2. 定格

入力信号			
・VIDEO INPUT	HD-SDI: SMPTE 292M準拠 0.8Vp-p±10%/75Ω SD-SDI(D1 NTSC/PAL): SMPTE 259M-C準拠 0.8Vp-p±10%/75Ω ANALOG COMPOSITE(NTSC/PAL): SMPTE 170M/ITU-R BT.470-6準拠 1.0Vp-p±10%/75Ω BNC 1系統(共通)		
・AES/EBU INPUT	AES3 SMPTE 276M準拠 1.0Vp-p±10%/75Ω BNC 1系統		
・ANALOG AUDIO INPUT	600Ω / HIGH(>20KΩ) XLR(f)※ 1系統		
出力信号			
・VIDEO OUTPUT	HD-SDI: SMPTE292M準拠 0.8Vp-p±10%/75Ω SD-SDI(D1 NTSC/PAL): SMPTE259M-C準拠 0.8Vp-p±10%/75Ω ANALOG COMPOSITE(NTSC/PAL): SMPTE170M/ITU-R BT.470-6準拠 1.0Vp-p±10%/75Ω BNC 1系統(共通)		
・AES/EBU OUTPUT	AES3: SMPTE 276M準拠 1.0Vp-p±10%/75Ω BNC 1系統		
・ANALOG AUDIO OUTPUT	110Ω (600Ω 負荷対応) 0dBm/+2dBm/+4dBm/600Ω XLR(m)※1系統		
・PHONES	30mW+30mW/16Ω Φ3.5 ステレオジャック 1系統		
DC IN	DC9V 7W (0.77A) DCジャック 1系統		
ACアダプター	AC100~240V 50/60Hz DC9V 1.3A DCプラグ 1系統		
VBH-26 バッテリーホルダー (オプション)	単3アルカリ乾電池(LR6) または単3形ニッケル水素電池(HR6) 6本 連続動作時間 参考値 約2.5時間 (ニッケル水素電池 三洋電機 HR-3UTG min1900mAh)		
液晶パネル	2.36インチ TFT 液晶		
内蔵スピーカー	0.5W モノラル		
外形寸法	80(W)×153.5(H)×63(D)mm (フード、バッテリーホルダーおよび突起物含まず)		
質量	560g(バッテリーホルダーおよび電池を除く)		
動作温度	0~40℃		
動作湿度	20~80%RH(ただし結露なき事)		

※VC-202plus-JのANALOG AUDIO INPUT はXLR(m)、ANALOG AUDIO OUTPUTは XLR(f)になります。

3. 性能

入力映像フォーマット

HD-SDI	1080i/50, 1080i/59.94, 1080i/60, 1080sF/23.98, 1080sF/24, 720p/50, 720p/59.94, 720p/60
SD-SDI(D1 NTSC/PAL)	525i/59.94, 625i/50
ANALOG COMPOSITE (NTSC/PAL)	525i/59.94, 625i/50

入力音声フォーマット

HD(SD)-SDI EMBEDDED 48kHz 同期	24bit(HD-SDI), 20bit(SD-SDI)
AES/EBU 48kHz 20bit	
ANALOG 600Ω / HIGH(>20kΩ)	

出力映像フォーマット

HD-SDI	1080i/50, 1080i/59.94, 1080i/60, 1080sF/23.98, 1080sF/24, 720p/50, 720p/59.94, 720p/60
SD-SDI(D1 NTSC/PAL)	525i/59.94, 625i/50
* EDH (SMPTE RP165)付き	
ANALOG COMPOSITE (NTSC/PAL)	525i/59.94, 625i/50

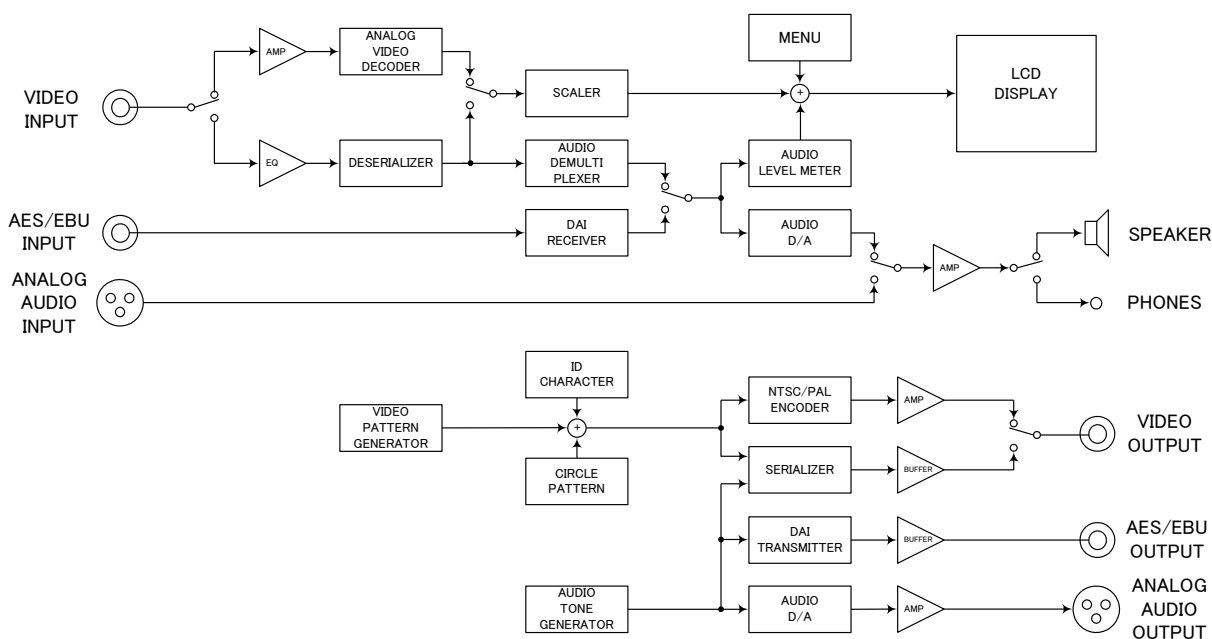
出力音声フォーマット

HD(SD)-SDI EMBEDDED	同期 48kHz 24bit (HD-SDI), 20bit (SD-SDI)
AES/EBU	48kHz 24bit
ANALOG	110Ω (600Ω 負荷対応)

液晶パネル

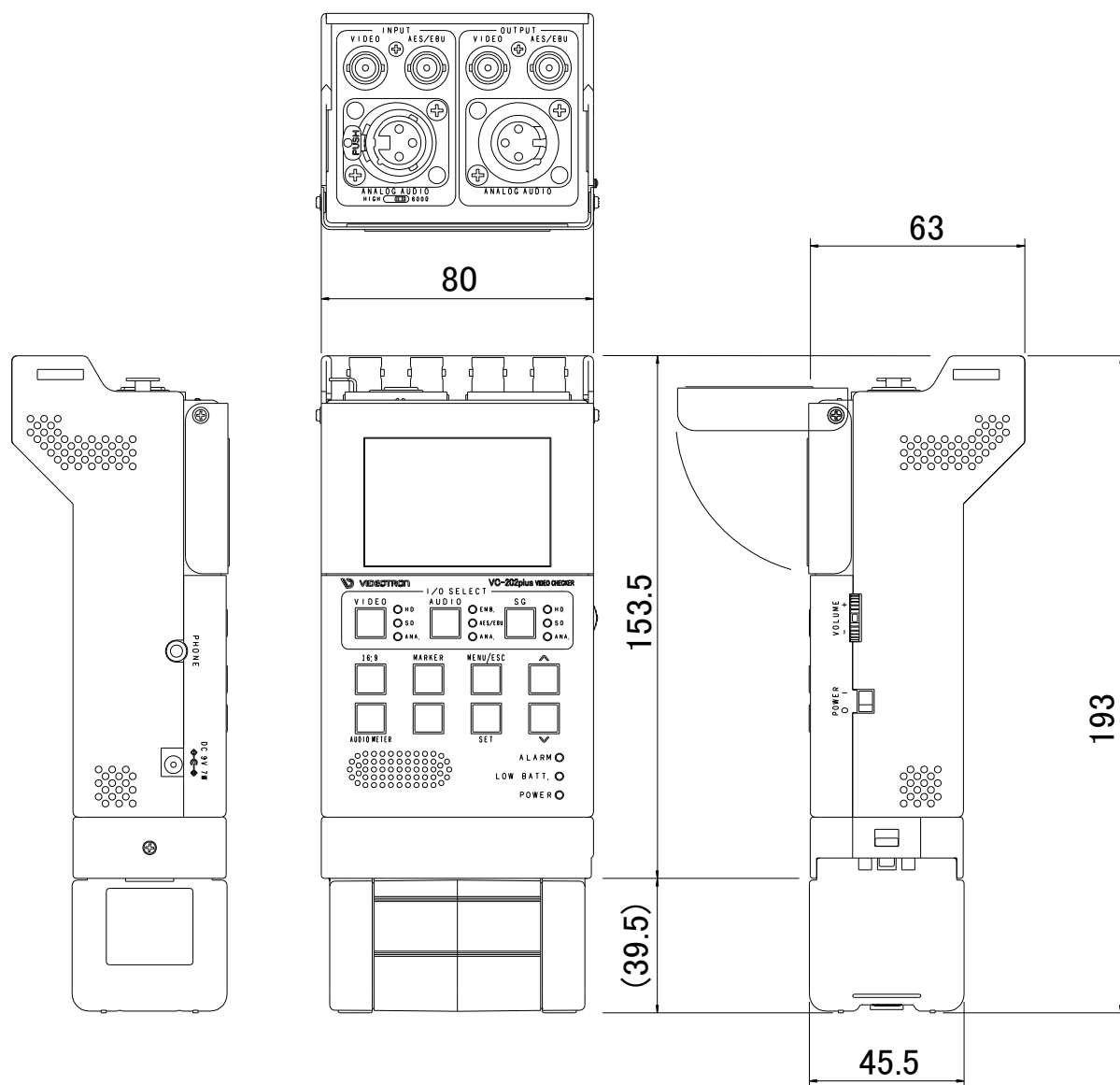
- ・ 表示有効エリア 48.0(H) × 35.685(V) mm
- ・ 画素数 480 × 234pixel ※画素配列デルタ 160 × (RGB) × 234
- ・ コントラスト 400:1
- ・ 輝度 250cd/m²
- ・ 視野角 (CR≥10) 上/下=15/35、右/左=50/50

4. ブロック図



7. 外形寸法図

(1) VC-202plus本体+VBH-26バッテリーホルダー(オプション)



※VC-202plus-JのANALOG AUDIO INPUT はXLR(m)、ANALOG AUDIO OUTPUTは XLR(f)になります。

(2)VBH-26 バッテリーホルダー(オプション)



※注外観および仕様は変更することがあります。



無断転写禁止

- ・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
- ・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

緊急時の連絡先について

ご使用中の製品が故障する等緊急の際には、下記連絡先へご連絡をお願いいたします。

営業日の連絡先

TEL.042-666-6329 FAX.042-666-6330

E-Mail. cs@videotron.co.jp

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16

受付時間 / 8:30～17:00

土曜・日曜・祝祭日の連絡先

【留守番電話】 TEL.042-666-6311

【緊 急 時】 TEL.090-3230-3507

携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますのであらかじめご了承ください。

受付時間 / 9:00～17:00

ビデオトロンWEBサイト

<http://www.videotron.co.jp/>

100984R18

この文書の情報は単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。